

# 学会設立 25 周年記念事業 ～ “Atlas of Plant Cell Structure” の出版～

第 9 代会長 野口哲子  
(奈良先端科学技術大学院大学 監事)

日本植物形態学会設立 25 周年記念事業として、2014 年秋に Springer 社より、写真集“Atlas of Plant Cell Structure”を冊子体と電子版(eBook)で出版しました。eBook は、SpringerLink (DOI 10.1007/978-4-431-54941-3)で、本全体、また、章単位でも有料でダウンロードできます。

## 写真集の概要

1. Nuclei and Chromosomes (S. Matsunaga)
  2. Mitochondria (S. Kawano)
  3. Chloroplasts (S. Kawano)
  4. The Endoplasmic Reticulum, Golgi Apparatuses, and Endocytic Organelles  
(T. Noguchi, S. Matsunaga, Y. Hayashi)
  5. Vacuoles and Storage Organelles (T. Noguchi, Y. Hayashi)
  6. Cytoskeletons (I. Karahara)
  7. Cell Walls (T. Noguchi)
  8. Generative Cells (A. Sakai)
  9. Meristems (H. Tsukaya)
- ・植物形態学をリードする 92 名の研究者が協力
  - ・植物の細胞構造に関する美しい図版 92 枚 (カラー66 枚) を収録
  - ・藻類、菌類を含む多様な生物の細胞構造を様々な技術を用いて可視化
  - ・図版とその内容に対応する簡潔な解説を見開きで掲載
  - ・英語、228 ページ (本文 202 ページ)
  - ・価格 印刷冊子体 EUR 139.99  
ebook JPY 16,250.00  
Chapter (PDF) JPY 3,411.72

## 出版までの経緯

2012 年 9 月の本学会大会の折、河野元会長との懇談中に“来年は学会設立 25 周年であり、何か記念事業を”とアドバイスされました。そこで、2013 年 9 月 12 日に北海道大学札幌キャンパスで開催された記念大会の評議員会と総会で、学会設立 25 周年記念事業として“写真

集の出版”または“Web上での写真公開”を会長提案しました。総会での議論に基づき、“写真集の出版”に向け、二度のメール評議委員会の審議を経て、記念事業ワーキンググループ委員会を立ち上げました。委員は、2013年度の会長（野口）、酒井敦庶務幹事、林八寿子会計幹事、唐原一郎 Plant Morphology (PM)編集委員長、松永幸大会計監査の執行部全メンバーと、河野重行元会長、塚谷裕一評議員の7名。

11月4日に東京大学理学部2号館で、初の委員会を開催。学会からの旅費支援なしで、全委員が参集しました。学会設立25周年記念出版であり、翌年9月の大会までに出版することを第一条件に、章立て、各章の担当編集者、英語版にすることなどを決め、学会誌PMに掲載された図表や学会での発表等を参考に、写真提供者の候補をリストアップしました。出版社情報の収集などは塚谷委員が担当し、一定部数の買い取り義務がなく、一年以内の出版が最も期待できるSpringer社を第一候補とし、平行して他の出版社との交渉も進めました。交渉に当たっては、見本版の提示は必須で、ワーキンググループ委員会を正式な編集委員会とし、章単位で編集を開始すると共に、11月10日に全学会員へ写真提供をメールで呼びかけました。Springer社のフォーマットによるBook Proposal（松永委員作成）に対し、暮れも押し迫った12月27日にSpringer Japanからレビューアーの意見と出版条件案が送付されました。急遽、1月3日に、編集委員長（野口）と東京近辺在住の河野、塚谷、松永編集委員が東大理学部2号館に集まり、出版条件案を検討しました。問題となった条件は、“カラー印刷（全体の25%まで）は、出版社の負担”と“英文校閲は著者責任”。前者に関しては、塚谷委員とSpringer Japan担当者との面談により、25%以上になるカラーページの原案でも超過料金なしを承諾され、後者に関しては、河野委員により、ZENIS社に許容範囲の料金で英文校閲を交渉でき、Springer社との出版契約に進めました。書籍サイズ（210 x 279 mm : Springer指定）が決定し、1月7日に二回目の写真公募案内（1月14日締め切り）を全会員へメールしました。1月20日に、編集委員長と河野委員がSpringer Japan社を訪問し、担当の平口愛子氏と鹿野好子氏との面談で、写真版スタイルの詳細を詰めました。解説文章の統一は編集委員、写真版の統一は林委員および奈良女子大の鈴木さんと森田さんの奮闘で、2月12日にSpringer社に写真版を入稿し、解説文の英文校閲をZENIS社に依頼しました。英文校閲の前に、解説文中の引用箇所に関し、引用論文等の明示でよいか、自己剽窃になるかの判断に苦慮しましたが、自己剽窃の明確なガイドラインが無いため、対応は各章の編集者に一任しました。しかし、英文校閲した原稿をSpringer社に入稿した3月初め、STAP細胞の論文疑惑に端を発した剽窃問題が大きくなって無視できなくなり、急遽Springer社に原稿の類似度チェックを依頼し、大変詳細なデータを元に改訂しました。

編集委員の精力的な働き、写真提供者の協力、Springer Japan担当者の尽力のお蔭で、2014年9月11日開催の大会で、“Atlas of Plant Cell Structure”二冊を披露することができました。その後、数カ所の修正もあり、正式な冊子販売は11月に開始されました。

## 販売状況

冊子体はオンデマント印刷対応で、絶版になることはありません。冊子体の販売数は公表されていませんが、各章のダウンロード数は以下に公表されており、2019年5月時点で、各章ほぼ同数で約1500/章です。

Springe Bookmetrix “Atlas of Plant Cell Structure” ページ；

<http://www.bookmetrix.com/detail/book/dcf2f6a2-9b28-44bd-823e-1da5bc970e69> (Chapter download 数は、Chapter 単位の購入数に、eBook 購入数、及び、eBook package を購入している機関の無料 download 数を加えた数)。

## 最後に

学会設立 25 周年記念事業として、本学会ならではの素晴らしい写真集を出版できました。企画から一年以内の出版で、編集作業は大学教員にとって博士・修士・学部生の論文作成や入試業務で最も忙しい時期と重なり、編集委員や写真提供者に大変な苦勞を強いました。編集者へは各人一冊の献本、編集者への原稿料（合計 90,000 円）は英文校閲料の一部として使わせていただき、著者への献本・原稿料はありませんでしたが、皆のパワーと情熱の結晶である写真集をとおして、学会員の素晴らしい写真を世界中にアピールすることができました。当時の学会長として、心より感謝しております。